

豊南小学校・校長室だより (家庭数配布)

令和3年(2021年)6月30日

発行 中森啓之

「無意味な行動」は本当に無意味なのか？

私が以前担任したクラスの中に、こんな子がいました。学力はとても高く、関西でもトップの難関私立中学にも合格できるだろうというくらいでした。(実際、卒業後は難関中学に進学しました。)ところが、普段の行動は、周囲の子もあきれろくらい幼稚なのです。例えば、理科の実験をしたとします。実験後、器具を洗うための洗剤を渡すと、器具は洗わず、その洗剤を使って流しのところで泡を立てて大はしゃぎ。床も含め、周囲を泡だらけにしてしまいました。私は、その行動を見て思いました。「この子は、学力を高めるための教育はさんざん受けてきたのだろうけど、おそらく幼児期に、一見無意味に思える行動をやらせてもらってないのだな。」と。

私自身の子どもでもありましたが、いつの間にかティッシュを1箱、丸ごと引っ張り出してみたり、ビデオテープを全部引き出してみたり。また、2歳頃には、水道の蛇口をひねると水が出ることを覚え、30分くらいず〜っと水遊びをしていたこともありました。これらの行動、大人から見れば、全く無意味な行動です。ティッシュもビデオテープも水も、本当にもったいない話です。しかし、全く無意味に思える行動を、なぜ幼い子どもはするのでしょうか？おそらく、幼いなりに、何か不思議なものを感じ、何かを考えてやっているのではないのでしょうか？なのに、このような行動をする子どもに対して、「悪い子」と決めつけてしまっただけでは、子どもが可哀そうです。子どもって、こんな経験を積み重ねることによって、発達段階を順に経て、成長していくものなのです。よって、大人からすると一見無意味な行動も、子どもの成長という観点から考えると、とても大きな意味のある行動ということになります。

古くからの格言に「人生は無駄はない」というものがあります。まっすぐ生きていくばかりが正解ではなく、紆余曲折あることも、後々には生きてくることもあるという意味です。保護者の皆さんも、どうですか？今まで、全く無駄なことをせず、何の失敗もせず生きてきた方、おられますか？「いっぱい無駄なことしてきたな〜、失敗もあつたな〜。」という方も多いのではないのでしょうか。でも、その無駄な経験

(失敗)が人間の幅というか、そういうものに繋がることもあるのではないのでしょうか。

話が全然違う方向に進んでしまいましたので、もとに戻します。子どもって、一見無意味に思える行動をするものなのです。危険なこと、金額がとてつもなく大きくなること、また、他人に迷惑をかけることでなければ、どんどん経験させてあげてください。大人があたたかく見守ってあげることで、子どもは安心し、心も成長していくはずですよ。そして、い



ずれは自分で自分の生きる道を決め、進んでいってくれるでしょう。